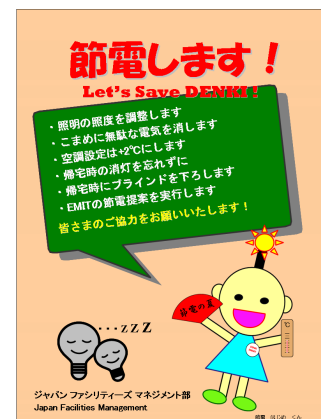


## エクソンモービル・ジャパングループの今夏の節電対策について

東日本大震災の影響により東京電力および東北電力管内の供給能力が大幅に減少していることに鑑み、エクソンモービル・ジャパングループでは対象となる事業所における節電対策を策定しました。中でも、東京電力管内にある川崎工場においては自家発電量を昨年比で増加させ、工場内の電力を全量自家発電でまかなうことでピーク時電力使用量を昨年比で15%以上削減する予定です。当工場では震災以降東京電力に必要なに応じて余剰電力を提供して参りましたが、7-9月においても適宜電力を提供するための体制作りを整えています。なお、川崎工場以外の各事業所において、下記の省エネ活動を実施します。

- 東北電力管内の塩釜油槽所において、ポンプの稼働台数を制限するなどの対応をとり、ピーク時電力使用量を昨年比で15%以上削減する予定です
- オフィスにおける取り組み
  - 当グループの本社オフィス(東京都港区)および販売部門の一部があるオフィス(神奈川県横浜市保土ヶ谷区)において下記取り組みを実施しピーク時電力使用量を昨年比で15%以上削減する予定です
    - ① デスクトップ PC からノート PC へ置き換える
    - ② プリンター類を一部使用制限する
    - ③ 照明輝度を落とす
    - ④ 空調設定温度を2℃引き上げる
    - ⑤ 服装を軽装化する
    - ⑥ 有給休暇の取得を奨励する
  - 東京電力・東北電力管外の地域にあるオフィスでも節電に関するガイドラインを策定し適宜対応していきます
- サービスステーション(SS)
  - 東燃ゼネラル石油株式会社の100%子会社である中央石油販売株式会社が運営する84SS(東京電力、東北電力管内)について、サイン類など一部照明を夜間消灯し営業上必要最低限にします。また、販売室の空調設定温度を2℃引き上げるなどの対策をとり、ピーク時電力使用量を昨年比で15%以上削減する予定です。
  - 上記取り組みを、サービスステーションを運営する代理店・特約店様にご紹介し、積極的な取り組みを依頼しました
- 関西電力管内にある堺工場では、自家発電設備により必要とする電力のほぼ100%をまかなうことができ、今夏も自家発電の最大化を継続していく予定です
- 同じ管内にある和歌山工場においても、所有する自家発電設備により主要電力をまかないながら、引き続き使用電力の節約につとめてまいります



本社オフィス内社員に節電を呼びかけるポスター

なお、当グループの石油精製工場では長年にわたり省エネ活動を積極的に推進しており、業界トップのエネルギー消費原単位を実現しています。今夏の節電対策はもとより、今後もエネルギー効率の向上を追求し石油および石油化学製品の安定供給に努めてまいります。